



海と地球の科学を学ぶ
マリエント
「ちきゅう」たんけんクラブ
2025.11月

令和7年度
「我が国の海洋研究を推進する
市議会議員連盟」
シンポジウム



■日時:令和7年11月27日(木)・28日(金) ■会場:神戸ポートピアホテル
参加者:会員 4名・引率 4名 計8名

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ

令和7年度

「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」
シンポジウム

参加者

ジュニア会員

八戸聖ウルスラ学院中学校1年 川口 紗織
八戸聖ウルスラ学院中学校1年 小村 愛実
八戸市立第三中学校2年 岩城 隆俊

シニア会員

青森県立八戸高等学校3年 杉本 よし桢

【指導】

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ
シニア会長 高橋 晃

【引率】

ジュニア会長 井上 貴之
八戸市水産科学館マリエント
館長 吉井 仁美・担当者1名

趣 旨

11月27日(木)に開催された、令和7年度「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」(会長 坂本美洋様)役員会・総会・シンポジウムが兵庫県神戸市にて開催される事となり、このシンポジウムの中で、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブの活動について発表する機会をいただきました。今回のシンポジウムでは、ジュニア会員(中学生)およびシニア会員(高校生)の幼稚園・小学生の頃からたんけんクラブに参加し、現在は地球科学分野における国内最大の学会「JpGU(日本地球惑星科学連合)」大会での高校生ポスター発表を目指して活動をしているメンバーが発表しました。これまでのたんけんクラブの活動について全国の議員連盟が一堂に会し、更には、JAMSTEC をはじめとする海洋研究に係わる多くの関係者の皆様に、当クラブの取り組みについて紹介いたしました。

発表本番までの主な活動日程

土日を中心にマリエントに集まり、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・シニア高橋晃会長、井上貴之副会長による講義を実施しました。これまでの活動を振り返り、発表内容を検討し、学習の成果をまとめ、発表への準備を進めてきました。

- ・ 7月12日(土)、21日(月)講義1(4階会議室、事務室)
- ・ 7月27日(日)紙芝居制作(5階展望ホール)
- ・ 8月23日(土)講義2(4階会議室)
- ・ 10月11日(土)講義3(4階会議室)
- ・ 11月 2日(日)講義4(4階会議室)
- ・ 11月 8日(土)講義5(4階会議室)
- ・ 11月15日(土)講義6(4階会議室)
- ・ 11月22日(土)講義7(4階会議室)
- ・ 11月27日・28日(木・金) 発表当日



【11月27日(木)】7:17 八戸駅よりはやぶさ8号で出発

朝6時30分頃に集合し、改札がまだ開く前でしたので、皆で待合室で待機しました。その後、はやぶさに乗車し、東京へ向かい、東京からはのぞみに乗り換え、新大阪に向かいます。



東京駅に到着。のぞみに乗り換え後、車内で昼食をとり、会場につくまでの間、原稿内容を見返したり、お互いに確認し合いながら過ごしました。

14:15 会場「神戸ポートピアホテル」到着

ホテルに到着後、チェックインを済ませ、控室へ移動し、本番に向けて練習をして待機しました。



控室にて、本番さながらに練習！本番が近づくに連れて表情から緊張が伝わります!!



リハーサルに向かう前に、先生方からアドバイスも!!



15:45~ シンポジウム

シンポジウム会場は120人以上入る広い空間で一気に緊張感が高まります。

【基調講演】

演題:「海洋開発におけるロボット技術の活用
— 力覚伝送技術と水中ロボットへの応用 —」

講師:神戸大学大学院 准教授 元井 直樹 様

水中ロボット技術は海底資源調査、インフラ点検、環境保全など幅広い分野で活用が進んでおり、力覚(触覚)を伝える先端技術を用いることで、遠隔作業の安全性・精度が飛躍的に高まることが紹介されました。水中ロボット技術として、水中でのバランスをとることが出来る仕組みや、人間動作を再現(モーションコピー)の実験など、様々な取り組みについて紹介を頂きました。



15:45~ シンポジウム

【活動発表1.】

演題:「海洋STEAM教育事業の展開と
長期的な海洋人材育成の展望」

講師:国立研究開発法人海洋研究開発機構課長 市原 盛雄 氏

八戸市立吹上小学校のモデル授業紹介をはじめ、各モデル授業の紹介や全国各地での事業紹介、今後のSTEAM教育事業の展望についてを紹介いただきました。



【活動発表2.】

演題:「海の仕事体験
こどもわーくin神戸の取り組み」

講師:アクトインディ株式会社 取締役 小土井 孝文氏

神戸で開催している海のお仕事体験「こどもわーく」事業について紹介をいただきました。子どもたちが「海」に係る様々な仕事を入社式&研修・仕事・振り返り・終了式と本格的な体験が出来る内容となっていました。



【活動発表3.】

演題:「水中ドローンによる自律非破壊検査」

講師:神戸市立工業高等専門学校 准教授
Universal Hands 取締役 清水 俊彦氏

老朽化する港湾などの水中構造物に対し、潜水土に代わり、水中吸着ドローンによる検査等を自動化に取り組む事業内容など海洋保全の現場において大きな可能性を持つことなど紹介いただきました。



マリエント発表



袖に並びスタンバイ!
ファイト!!

【活動発表】

演題:「マリエント

「ちきゅう」たんけんクラブの活動」

はじめに、たんけんクラブが活動しているマリエントの施設紹介と、たんけんクラブの発足経緯から活動内容について紹介。会場には、来賓の皆様、関係者あわせて約120人近くの方々に前に、発表を行いました。



八戸聖ウルスラ学院中学校1年 川口 紗織

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブでは、学校では体験できない特別な活動を行っています。昨年12月には、宮城県沖で掘削中の「ちきゅう」とオンラインでつながり、研究員の方々と直接お話しすることができました。最前線で活躍する研究者の生の声を聞き、質問もすることができました。このように「本物」や「一流」に接する活動を通して、自分たちの身の回りの不思議に気づき、疑問に思うことの大切さをくり返し丁寧に教えていただいています。

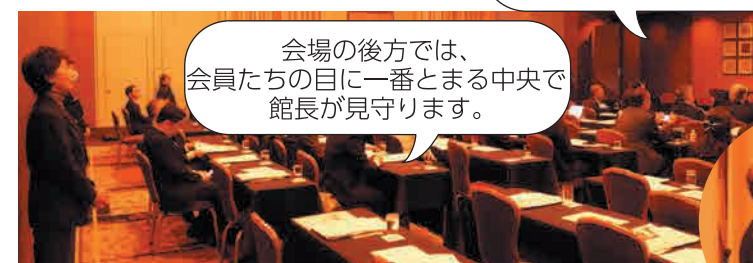


八戸聖ウルスラ学院中学校1年 小村 愛実

「ちきゅう」たんけんクラブでは、活動ごとにレポートをまとめて提出しています。「海の日」には、海上自衛隊護衛艦「むらさめ」と「てるづき」の艦内を見学しました。特別にP-3C哨戒機が上空を旋回し我々のことを歓迎してくれました。私は、自衛隊に非常に興味を持っているので、隊員や防衛大学生に直接お話を聞くことができ、とても良い経験になりました。



高橋シニア会長
井上ジュニア会長は
袖で見守ります



会場の後方では、
会員たちの目に一番とまる中央で
館長が見守ります。



興味を持って進めている
ウミタナゴの生態研究も発表!!



国宝「合掌土偶」
幼いころにこれを見て
強い興味を持ち、
縄文時代にも関心を抱き、
小学生のころから研究や
発表活動を続けてきました



八戸市立第三中学校2年 岩城 隆俊

7月20日には、JAMSTECむつ研究所で、役目を終える海洋地球研究船「みらい」を見学しました。地球環境変動の研究のために、多くのデータを収集してきたことを学びました。7月27日は、八戸警察署の役割について学びました。8月10日は、マリエントの伝統行事「八戸イカの日大研究」です。八戸市はイカの水揚げで何度も日本一を記録しています。普段は見られない、さまざまな種類のイカを観察できる人気の高い企画です。



会場の皆様から大きな拍手をいただきました



青森県立八戸高等学校3年 杉本 よし桢

私たちシニアは、2018年度から三陸ジオパークについて研究し、その成果を日本地球惑星科学連合・JpGUで毎年発表しています。この自然科学の大会において、考古学的要素を強く含む研究を発表しました。地球科学と考古学という二つの分野をつなぐ研究テーマは、多くの研究者の関心を引き、同時に三陸ジオパークについての理解を深めていただく良い機会になったと感じています。いただいた様々な助言をもとに、新たな研究テーマや可能性を見いだすことができました。これらの経験を糧に、今後の研究をさらに発展させていきたいと考えています。



【11月28日(金)】2日目 視察 テクノオーシャン2025

ホテルにて朝食後、視察のためロビーに集合すると、JAMSTEC廣瀬重之様にお会いしました。たんけんクラブの活動でこれまで大変お世話になっており、前日の発表についてクラブ会員にお褒めの言葉をいただきました。



神戸国際展示場2号館会場で記念撮影



会場はホテル付近のため、徒歩移動!!



【パネルディスカッション】

演題:「海洋人材育成と

獲得のためのリスクリングシステム」

JAMSTEC 大和 裕幸理事長

船舶の造船技術や仕組みについて等ご紹介いただきました。パネルディスカッション聴講後、会場を出ると、八戸市教育委員会、観光課の皆様にお会いし、前日の発表についてお褒めのお言葉をいただきました。



展示会・市内見学

展示会では、出展者94社・団体等、海に携わる様々な企業・大学などの展示や、特別セミナーも開催されていました



館長もバッチリきまっています!!



JAMSTEC展示ブースを見学。海上保安庁のイメージキャラクター「うみまるくん」も発見!!視察終了後、グループに分かれ昼食・自由時間の後、帰省しました。



【11月28日(金)】20:12 八戸駅帰着

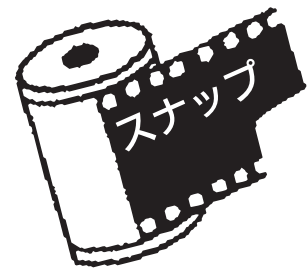


八戸に到着後、同じ新幹線に乗っていた我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟会長たんけんクラブ名誉会長坂本美洋様から今回の発表について激励のお言葉をいただきました。



本発表の機会をいただきました、坂本美洋会長をはじめとする我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟の皆様、参加にあたり、ご支援・ご協力をいただきました八戸市、神戸市、多くの関係機関の皆様にご心より感謝申し上げます。また、発表の資料作成等ご指導くださいました、たんけんクラブ・シニア高橋晃会長、ジュニア井上貴之会長、さらに、大会参加にご理解ご協力をいただきました参加メンバーの各学校の皆様、ご家族の皆様、誠に有難うございました。マリエント「ちきゅう」たんけんクラブといたしましては、この素晴らしい体験の機会を与えていただきました関係者の皆様に感謝し、今後もクラブの活動に励み、情報発信にも積極的に取り組んで参りたいと思います。将来の海洋研究開発に関わり海洋の未来を切り拓く人材育成を目指して、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ活動の更なる充実に向けマリエント一同さらに精進してまいりますので、今後ともご指導ご協力の程宜しくお願い申し上げます。





夕食時は
緊張が和らげリラックス!



発表緊張感が伝わりますが、
全国の市議会議員の皆様が見守る中、
緊張しながらも、堂々と発表しました



発表が終わって
安堵の表情!



ホテルのビュッフェは
美味しかったです!



今回の発表を通じて
会員同士より絆が
深まったようです。



「うみまるくん」に会い
思わずスキップ!!



ホテルのロビーは
クリスマスイルミネーションで
とても綺麗でした



帰りののぞみの車窓から
富士山が綺麗に見えました



令和7年12月7日(日) デーリー東北 掲載記事



令和7年12月9日(火) 東奥日報 掲載記事



海洋研究推進の市議連神戸でシンポ
八戸の中高生が活動発表

海洋研究推進機構と関わりのある全国の市議会有志で組織する「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」(会長・坂本美洋八戸市議)は、このほど、八戸市の神戸ポートピアホテルで総会・シンポジウムを開き、八戸市水産科学館マリエントの学習活動発表する「ちきゅう」たんけんクラブの生徒(八戸市スラ学院中1年の川口紗織さん、小村愛実さんが参加。縄文時代の災害との向き合い方については川口石器時代遺跡を対象に考察した研究発表では、環境変化に対応できた要因として容易に移動可能な集団での生活などを背景に挙げた。また同機構は、八戸市教委が教材開発に協力した「海洋STEM教育」の取り組みを報告。坂本会長は取材に「機構の研究成果を地元自治体でさらに活用できる形を目指したい」と期待した。(藤野 武)

八戸市、むつ市、青森市など全国9市議会で構成する「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」(会長・坂本美洋八戸市議)は、このほど、八戸市の神戸ポートピアホテルで総会・シンポジウムを開き、八戸市水産科学館マリエントの学習活動発表する「ちきゅう」たんけんクラブの生徒(八戸市スラ学院中1年の川口紗織さん、小村愛実さんが参加。縄文時代の災害との向き合い方については川口石器時代遺跡を対象に考察した研究発表では、環境変化に対応できた要因として容易に移動可能な集団での生活などを背景に挙げた。また同機構は、八戸市教委が教材開発に協力した「海洋STEM教育」の取り組みを報告。坂本会長は取材に「機構の研究成果を地元自治体でさらに活用できる形を目指したい」と期待した。(藤野 武)

シンポジウムで本年度の活動を報告した八戸市たんけんクラブの神戸市(八戸市議会事務局提供)

戸部ワスラ学院中学校1年(小村愛実さん)が本年度の活動内容を発表。海洋研究推進機構「JAMSTEC」シヤムステック、海洋STEM(フレイム)推進課の市原盛雄課長は、八戸市教育委員会と共同制作した「海洋STEMの取り組みを紹介」八戸の自治体における「八戸モデル」の事例を示した。シンポジウムに先立ち開いた総会には本県の市議会のほか、構成する市議会の議員ら約90人が出席。事業報告・計画案などを審議した。(下館 悠)